

品取はめい河にあらさし中流ふ小
 生此くの春をたに怖れ重れこめふ
 の女をり花 得し花を土踏し葉
 に身をとけの波をな能く本月平昔
 日の下福を結及有る昔あし
 上へ海又二海とてふくしの波は
 け家の妻かゝは中を民然れあは
 人と懐恨を比ふ下西人魚漁の古
 共



36.3.11.

きかは便郵



牛込十甫山依河十日
室田修松

江沼彦彦

此の表面には宿所姓名を限り認むべし

24
印
四
〇